

株主の皆様へ



三井倉庫株式会社



第156期中間事業報告書

平成15年4月1日から

平成15年9月30日まで

Logistics Information Technology



当中間期のハイライト

連結決算の概要

	平成15年9月中間期	平成15年3月期(参考)
営業収益	442億2,200万円 (前中間期比+0.2%)	880億2,100万円
営業利益	21億3,400万円 (前中間期比+12.0%)	40億5,100万円
経常利益	17億2,600万円 (前中間期比+7.9%)	34億3,100万円
中間(当期)純利益	10億800万円 (前中間期比-14.0%)	21億2,800万円
1株当たり中間(当期)純利益	7円24銭 (前中間期比-13.9%)	15円12銭

グループ経営 改善計画の 推進状況

既存事業の質的転換と新規事業の開発促進

コダック(株)と共同でBPO事業を推進
日本郵政公社と「ゆうパック」を利用した
新規サービスを推進
東京・町田に延床面積7,245坪の
BPO専用大型倉庫を建設(来秋完成予定)

既存事業における利益の拡大

国内関係会社の合理化、体制整備
福岡・箱崎埠頭で大型自動倉庫の稼働開始
海外現地法人の体制整備

グループ経営の効率化の推進

経営体制を見直すとともに、
コーポレートガバナンスの機能を向上
継続的な生産効率向上のための施策を推進
経営に関わる全てのコストを削減

目次

ごあいさつ	1	中間単体財務諸表	8
三井倉庫Q&A	2	グラフで見る三井倉庫	10
当中間期(連結)の概況	4	会社の概要	12
中間連結財務諸表	6	株式の状況	13

ごあいさつ



代表取締役社長
田村 和男

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第156期中間期(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)の事業報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当社は、主たる業務である物流事業を通じて社会に貢献することを基本理念とし、企業環境や事業基盤の変化に即応しながら、企業価値、資本コストを意識した経営を推進していくため、「既存事業における利益の拡大」「グループ経営の効率化の推進」「既存事業の質的転換と新規事業の開発促進」の3点を当面の事業方針とし、種々の施策を実践しております。

一方、利益配分につきましては、物流ネットワークの拡充や情報通信技術を駆使した物流システムの強化等今後の事業展開に備え、財務体質の強化を図りつつ利益水準を考慮した安定配当を実施し、株主の皆様へ報いる所存であります。以上の考えから、当中間期の1株当たり配当金は、前中間期と同様の3円とさせていただきます。

今後の物流業界の業況は、経済や企業環境のグローバル化に伴う物流構造の変化が続き、企業間競争の激化とともに、物流の効率化・合理化という要請に応えるための経営努力を一段とせまられる状況にあります。こうした業況のなか、当社は、グループ力を結集して、個々の顧客の物流ニーズに柔軟かつ的確に対応した物流システムを構築し、合理的で効率の良い顧客本位の営業を展開する一方、組織の活性化や徹底した諸経費の削減をさらに進め、収益性の向上に全力を挙げる所存であります。株主の皆様には、今後ともより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

代表取締役社長

田村和男

株主・投資家の皆様からの質問について、お答えします。

Q 事業の柱は何ですか？

A お客様のニーズに最適であり、付加価値の高い物流事業と、安定した不動産事業を2本の柱としています。

物流事業においては、お客様のサービスに対するご要望が多様化し、より質の高いサービスへのニーズが年々高まっています。こうした流れを受け、当社では、物流サービスと情報システムを組み合わせたLIT(ロジスティクス・インフォメーション・テクノロジー)サービスを中心に、高付加価値の物流事業へ経営資源をシフトしています。コダック株式会社と提携して文書情報の電子化および管理等に関するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業を推進するとともに、BPOの需要増に対応し、東京・町田に大型専用倉庫の建設を進めるなど、収益基盤を強化しています。

また、不動産賃貸業では、テナントサービスを充実し、安定した収益確保に努めています。



東京・町田の新倉庫完成予想図

Q 物流事業の内容を教えてください。

A 倉庫業務と運送業務が中心で、これに付帯・関連する業務があります。海外においても物流事業を展開しています。

物流事業は、一般物流事業、港湾運送事業、海外事業の3つに大別されます。

一般物流事業とは、企業の商品や個人の家財を対象にして、倉庫保管、陸上運送、海上運送、輸出入通関手続きなどの個別業務を単独またはまとめて取り扱うこと、あるいは海外と日本の間で船舶、航空機、トラックなど複数の輸送手段を組み合わせる複合一貫輸送、小口貨物をコンテナ単位にまとめて運ぶ混載輸送などのことをいいます。

これらの業務の中で、近年取扱量が増えているものとして、企業の書類や個人の家財をお預かりしているトランクルーム業務、貨物や商品の検品・荷揃えなどを行う流通加工業務、さらに情報システムと実態物流を融合させた新サービスとしてのLIT業務などがあります。

港湾運送事業とは、港における本船からの輸出入コンテナの積み卸し作業が中心ですが、港から港、港と内陸の拠点間のコンテナ陸上運送を含めております。

海外事業とは、海外の各現地法人が行っている倉庫保管、流通加工、陸上運送、複合一貫輸送などの物流事業のことであります。

Q 海外展開についてはどのように考えていますか？

A 拠点における機能の充実と採算性の向上を進めていきます。

80年代から90年代前半は、輸送ルート充実のため、複合一貫輸送のNVOCC*サービスを中心として各国に拠点を拡大していきました。しかし、現在はそれぞれの地域における特徴を踏まえ、保管や配送などの業務はもちろんのことお客様が求める物流付帯のサービス機能を充実させています。

特に最近では、国内メーカーの中国や東欧への展開に合わせ、現地の工場への設備輸送をはじめ、稼動後における原材料の供給、製品物流を世界各地で幅広く提供しています。

これからの海外展開に関しては、物流情報サービスを充実する一方で、顧客ニーズを先取りし、より採算性を重視した経営を行っていく考えです。

*NVOCC(Non-Vessel Operating Common Carrier):

非船舶運航業者、外航利用運送業者。船舶などの運送手段を自ら所有せず、海上運送人など実運送人のサービスを使って輸送する者のこと。輸送責任やタリフは自らの名において行う。フォワーダーがNVOCC業務に参入することが多く、日本では利用運送人がこれに当たる。



中国現地法人の1社、上海華和國際儲運有限公司

Q IR活動として何を行っていますか？

A 当社の現状とこれからの方向性を理解していただくために、事業報告書やホームページによる情報発信の充実に努めています。

三井倉庫の現状は？ 三井倉庫はどのような方向に向かっていくか？ そのためにどういった戦略を持っているか？ という疑問にお答えし、分かりやすくお伝えするため、株主の皆様にお送りしている事業報告書を今年から従来の年2回発行から年4回発行に増やし、掲載内容も充実しております。

また、年4回、本決算、中間決算および四半期決算の発表に合わせ機関投資家やアナリストを対象に決算説明会を開催しています。当社のホームページでは、事業報告書や決算短信を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。(ホームページのアドレスは、裏表紙に掲載しています)



事業報告書

当社ホームページ

当中間期(連結)の概況 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)

全般の概況

当中間期におけるわが国経済は、本年4月を底に月を追うごとに上昇してきた株価と軌を一にするように、企業活動には収益の改善や設備投資の増加など緩やかな景気回復の動きが表れ、雇用情勢や個人消費においては依然として厳しい状況が続くものの、全般的には前期に比べ幾分明るさを感じられる状況になってまいりました。海外においては、米国経済が着実な回復傾向にあるなかで、これに中国を中心にアジア地域が好影響を受ける一方、欧州経済は弱含みで推移いたしました。

こうしたなか、物流業界にあっては、輸出貨物が比較的堅調であったものの、全般的な国内貨物の動向には未だ回復傾向は見られませんでした。

このような業況の下、当社グループは、意思決定のプロセスとスピードを重視した経営の実現に向けて体制を見直し、コーポレートガバナンス機能の向上に努めてまいりました。また、継続的な生産効率向上のための施策や経営に関わる全てのコスト削減を進め、グループ全体での経営の効率化、経営資源の有効活用を図ってきました。



コンテナ輸送用トレーラー

さらに、当中間期に稼働を開始した三井倉庫九州の福岡・箱崎第2期自動ラック倉庫、前期から稼働している埼玉・加須第2期、茨城・常陸那珂港、三重・四日市の新倉庫をフルに業績に寄与させ、倉庫・港湾運送など従来の事業基盤の下で営業活動を強化いたしました。一方、データ保管や小口配送の分野においては他社との業務提携に基づきサービスの拡充を図り、得意分野における先行したサービスの提供にも注力いたしました。

こうした結果、長期にわたる経済の低成長や継続するデフレの影響により全般的に事業環境は厳しい状況で推移いたしました。積極的な集貨努力による港湾運送部門の持ち直しや一貫物流に係る手数料収入の増加等により、当上半期の連結営業収益は前中間期を9千4百万円上回る442億2千2百万円となりました。



輸入品の検査業務

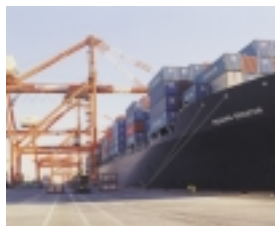
一方、利益面においては、作業直接費、減価償却費の減少があり、その他の経費の圧縮にも努めました結果、連結営業利益は前中間期に比し、2億2千8百万円増の21億3千4百万円、また連結経常利益は、前中間期を1億2千6百万円上回る17億2千6百万円となりました。

中間純利益は、資産効率向上のための投資有価証券や固定資産の売却、全社情報システムの再編に伴うソフトウェア除却やリースの解約等による特別損益を計上した結果、前中間期比1億6千4百万円減の10億8百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況

物流事業

デフレの進行による一部料金の低下等により、倉庫業務の営業収益は前中間期を若干下回りました。港湾運送業務は、コンテナターミナル作業、港湾作業ともに持ち直しを見せ、前中間期を上回りました。国内及び国際運送業務では、主にコンテナ運送取扱業務の不振から、前中間期を下回りました。これらの結果、物流事業全体としての営業収益は403億8千4百万円(前中間期比1億2千9百万円増)となり、営業利益は13億3千5百万円(前中間期比1億6千1百万円増)となりました。

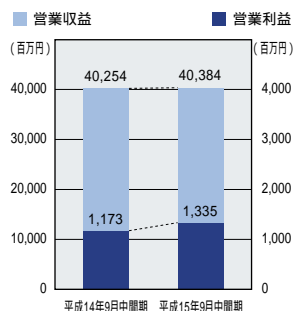


コンテナターミナルにおける積み卸し作業

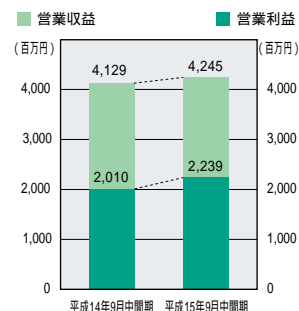
不動産事業

不動産賃貸業務は、MSCセンタービルのフル稼働により、営業収益は42億4千5百万円(前中間期比1億1千5百万円増)と若干の増加となり、営業利益は減価償却費等の減少により、22億3千9百万円(前中間期比2億2千8百万円増)となりました。

物流事業



不動産事業



所在地別セグメントの概況

日本国内

国内では、港湾運送部門の持ち直しや一貫物流に係る手数料収入の増加等により、営業収益は388億6千9百万円(前中間期比4億8千8百万円増)、営業利益は33億8千1百万円(前中間期比3億5千2百万円増)となりました。

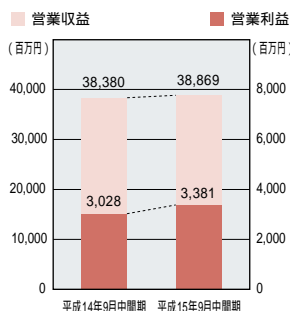
その他の地域

その他の地域は、アジア地域で順調な動きを見せましたが、米国、欧州地域が厳しい業況で推移した結果、営業収益は67億2千万円(前中間期比4億1千2百万円減)となりました。しかし、積極的なコスト改善策の結果、営業利益は1億7千2百万円(前中間期比1千6百万円増)と前中間期並みになりました。

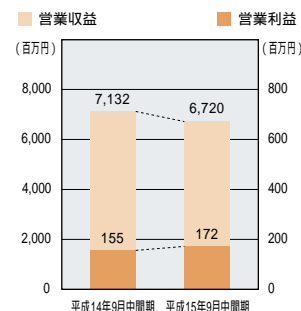


中国現地法人の蘇州倉庫

日本国内



その他の地域



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第156期中間期 平成15年9月30日現在	第155期中間期 平成14年9月30日現在	第155期 平成15年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	27,183	29,250	30,044
現金及び預金	8,142	9,848	11,845
受取手形及び営業未収金	15,689	15,095	14,855
有価証券	49	49	49
繰延税金資産	1,281	1,432	977
その他の流動資産	2,050	3,063	2,453
貸倒引当金	30	239	136
固定資産	81,728	82,404	77,569
有形固定資産	60,375	60,674	59,013
建物及び構築物	43,658	45,372	43,205
機械装置及び運搬具	2,294	2,300	2,246
土地	12,661	11,223	11,844
建設仮勘定	79	104	
その他の有形固定資産	1,682	1,673	1,717
無形固定資産	4,582	4,878	4,396
投資その他の資産	16,769	16,851	14,158
投資有価証券	13,253	13,367	10,568
長期貸付金	502	459	498
繰延税金資産	849	937	855
その他の投資	2,178	2,534	2,238
貸倒引当金	13	446	1
資産合計	108,912	111,655	107,614

Point 1

九州子会社における自動倉庫建設等により、総額27億1千6百万円の設備投資を実施しました。株式売却や遊休不動産売却など資産圧縮に努めた結果、総資産は前中間期比27億4千3百万円減の1,089億1千2百万円となりました。

三井倉庫グループ会社

連結子会社 41社

重要な子会社の名称

(株)ロジスティクス システムズ アンド ソリューションズ

三井倉庫港運(株)

三井倉庫九州(株)

MITSUI-SOKO(U.S.A.)INC.

MITSUI-SOKO INTERNATIONAL PTE LTD

MITEX INTERNATIONAL(HONG KONG)LTD.

持分法適用関連会社 6社

科 目	第156期中間期 平成15年9月30日現在	第155期中間期 平成14年9月30日現在	第155期 平成15年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	26,944	30,519	29,086
支払手形及び営業未払金	7,908	7,666	7,657
短期借入金	4,043	10,930	10,476
1年内返済予定の長期借入金	5,979		
1年内償還予定の社債	3,000	5,000	5,000
未払法人税等	760	1,322	856
賞与引当金	1,481	1,534	1,560
その他の流動負債	3,771	4,065	3,536
固定負債	30,673	32,661	30,551
社債		3,000	3,000
長期借入金	21,360	21,249	20,041
繰延税金負債	2,865	1,741	950
退職給付引当金	5,133	5,262	4,946
役員退任慰労引当金	428	654	705
その他の固定負債	885	753	907
負債合計	57,617	63,181	59,638
(少数株主持分)			
少数株主持分	1,428	779	675
(資本の部)			
資本金	11,100	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563	5,563
利益剰余金	30,122	28,872	29,409
その他有価証券評価差額金	4,054	2,944	1,893
為替換算調整勘定	969	783	661
自己株式	5	2	5
資本合計	49,865	47,694	47,299
負債、少数株主持分及び資本合計	108,912	111,655	107,614

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Point 2

新規連結子会社が増加したものの、有利子負債残高は、前中間期比57億9千7百万円減の343億8千2百万円となりました(9月末に社債償還50億円を実施)。また、株主資本は、有価証券の時価評価差額の増加等により、21億7千1百万円増加しています。

中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	第156期中間期	第155期中間期	第155期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業収益	44,222	44,127	88,021
役員等原価	38,960	39,339	77,849
営業総利益	5,261	4,787	10,172
販売費及び一般管理費	3,126	2,881	6,121
営業利益	2,134	1,905	4,051
営業外収益	312	402	690
受取利息及び配当金	98	127	192
その他	213	274	496
営業外費用	721	708	1,310
支払利息	458	485	932
その他	262	222	377
経常利益	1,726	1,600	3,431
特別利益	724	446	926
貸倒引当金戻入益	11		480
投資有価証券売却益	593	446	446
固定資産売却益	119		
特別損失	687	114	1,061
固定資産売却損	301		
ソフトウェア除却損	277		
投資有価証券評価損	22	114	418
事業再編損失			371
その他	85		270
税金等調整前中間(当期)純利益	1,763	1,932	3,296
法人税、住民税及び事業税	631	1,167	972
法人税等調整額	91	412	175
少数株主利益	32	4	20
中間(当期)純利益	1,008	1,172	2,128

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Point 3

営業利益は前中間期に比し、12%増の21億3千4百万円となり、営業利益率でも4.8%と0.5ポイント改善されました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	第156期中間期	第155期中間期	第155期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,063	4,385	8,155
税金等調整前中間(当期)純利益	1,763	1,932	3,296
減価償却費	2,400	2,472	5,092
売上債権の増減額(減少)	469	826	1,084
仕入債務の増加額	77	32	33
その他	22	535	195
法人税等の支払額	730	341	612
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,553	2,887	2,417
固定資産の取得による支出	2,716	3,496	5,093
固定資産の売却による収入	423	60	1,996
投資有価証券の取得による支出	265	15	48
投資有価証券の売却による収入	1,087	555	774
その他	82	9	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,504	1,288	791
借入れによる収入	3,690	6,961	8,704
借入金の返済による支出	3,775	3,852	7,260
社債の償還による支出	5,000	1,402	1,402
配当金の支払額	418	419	836
その他	1		7
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	65	46
現金及び現金同等物の増減額(減少)	3,978	2,851	4,900
現金及び現金同等物期首残高	11,792	6,863	6,863
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	191	28	28
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	8,006	9,743	11,792

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Point 4

営業キャッシュ・フローは、法人税等の納付額の増加及び売掛債権の増加により、前中間期比13億2千2百万円減の30億6千3百万円となりました。

》》》 中間単体財務諸表

中間単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第156期中間期 平成15年9月30日現在	第155期中間期 平成14年9月30日現在	第155期 平成15年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	18,141	21,408	20,468
現金及び預金	5,992	7,270	7,896
受取手形	129	213	146
営業未収金	10,045	9,829	9,193
繰延税金資産	533	1,175	1,146
その他の流動資産	1,451	4,764	3,156
貸倒引当金	10	1,845	1,070
固定資産	75,946	78,606	74,675
有形固定資産	52,139	54,159	54,129
建物	38,777	41,393	40,058
土地	9,936	8,981	10,564
その他の有形固定資産	3,424	3,784	3,505
無形固定資産	4,254	4,803	4,290
借地権	2,437	2,893	2,437
その他の無形固定資産	1,817	1,910	1,853
投資その他の資産	19,552	19,642	16,255
投資有価証券	17,317	17,099	13,995
長期貸付金	1,237	2,279	1,252
その他の投資	1,830	2,112	1,828
貸倒引当金	833	1,848	821
資産合計	94,087	100,014	95,144

科 目	第156期中間期 平成15年9月30日現在	第155期中間期 平成14年9月30日現在	第155期 平成15年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	20,360	23,352	22,603
営業未払金	5,657	5,825	5,532
短期借入金	2,255	2,721	2,660
1年内返済予定の長期借入金	5,617	5,294	5,531
1年内償還予定の社債	3,000	5,000	5,000
未払法人税等	534	1,078	617
賞与引当金	900	950	1,000
その他の流動負債	2,396	2,483	2,261
固定負債	24,865	29,223	26,138
社債		3,000	3,000
長期借入金	18,723	20,740	17,846
繰延税金負債	2,461	1,688	1,511
退職給付引当金	2,473	2,505	2,314
役員退任慰労引当金	371	594	636
その他の固定負債	836	694	829
負債合計	45,226	52,576	48,742
(資本の部)			
資本金	11,100	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563	5,563
資本準備金	5,563	5,563	5,563
利益剰余金	28,205	27,854	27,876
利益準備金	2,562	2,562	2,562
任意積立金	19,266	18,387	18,387
中間(当期)未処分利益	6,377	6,904	6,926
その他有価証券評価差額金	3,997	2,922	1,868
自己株式	5	2	5
資本合計	48,861	47,438	46,402
負債及び資本合計	94,087	100,014	95,144

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間単体損益計算書

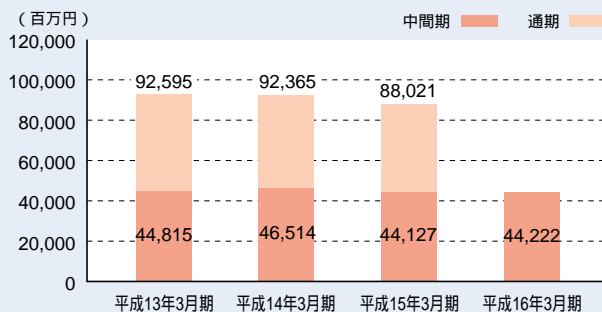
(単位：百万円)

科 目	第156期中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	第155期中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	第155期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
営業収益	34,793	34,048	67,914
営業費用	33,083	32,525	64,737
役務等原価	30,903	30,483	60,601
販売費及び一般管理費	2,179	2,042	4,136
営業利益	1,709	1,522	3,176
営業外収益	214	289	403
受取利息及び配当金	133	153	211
その他	80	135	192
営業外費用	546	631	1,123
支払利息	385	442	848
その他	160	189	274
経常利益	1,377	1,180	2,457
特別利益	1,690	446	551
貸倒引当金戻入益	1,047		104
投資有価証券売却益	593	446	446
固定資産売却益	48		
特別損失	1,749	112	683
関係会社株式評価損	1,000		
固定資産売却損	370		
ソフトウェア除却損	277		
リース解約損	76		
投資有価証券評価損	22	112	412
ゴルフ会員権評価損	2		270
税引前中間(当期)純利益	1,318	1,513	2,324
法人税、住民税及び事業税	437	989	662
法人税等調整額	113	359	336
中間(当期)純利益	767	884	1,325
前期繰越利益	5,609	6,019	6,019
中間配当額			418
中間(当期)未処分利益	6,377	6,904	6,926

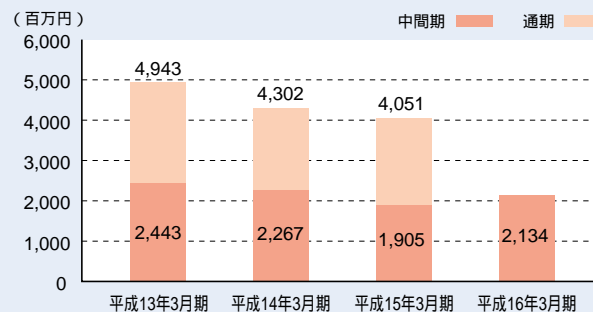
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

グラフで見る三井倉庫(連結ベース)

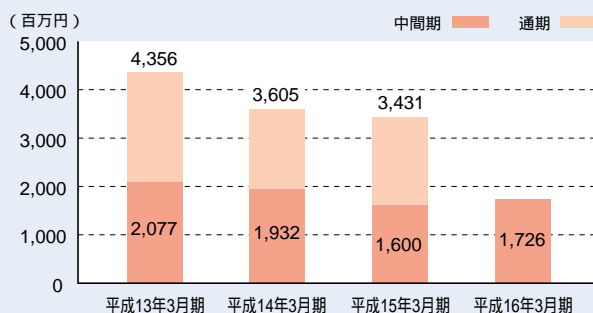
営業収益



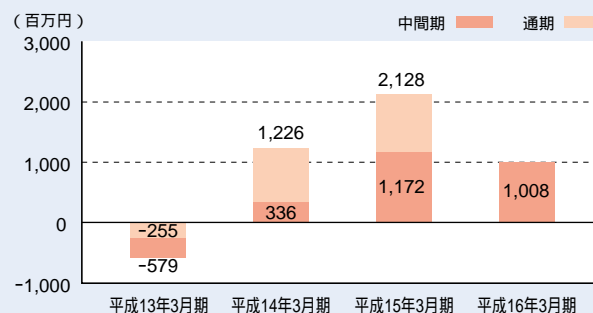
営業利益



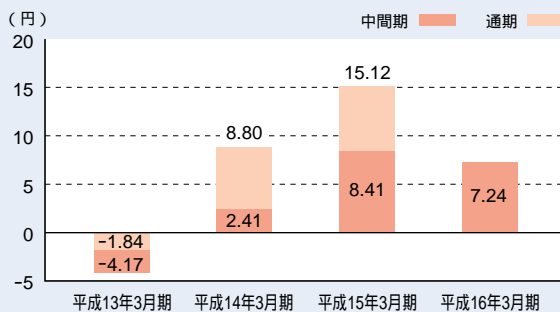
経常利益



中間(当期)純利益



1株当たり中間(当期)純利益



総資産



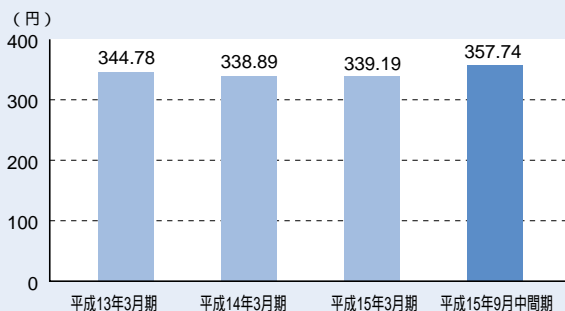
株主資本



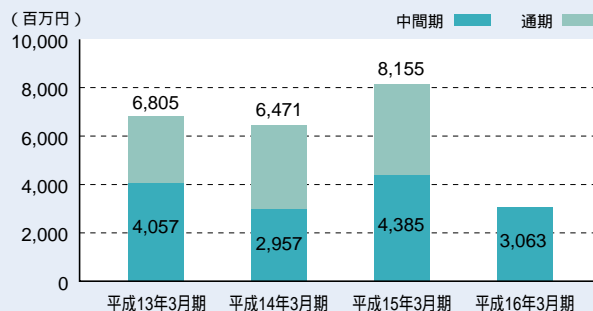
株主資本比率



1株当たり株主資本

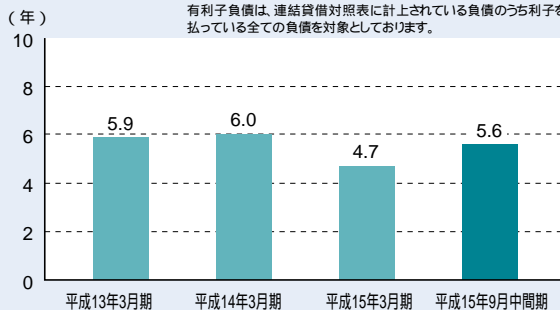


営業活動によるキャッシュ・フロー



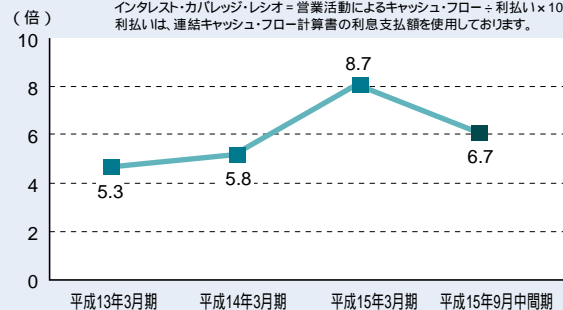
債務償還年数

債務償還年数 = 有利子負債 ÷ 営業活動によるキャッシュ・フロー
 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を払っている全ての負債を対象としております。



インタレスト・カバレッジ・レシオ

インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業活動によるキャッシュ・フロー ÷ 利払い × 100
 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。



会社の概要(平成15年9月30日現在)

商号 三井倉庫株式会社
(英文社名: MITSUI-SOKO CO., LTD.)

設立 明治42年(1909年)10月11日

主な営業種目 倉庫業
港湾運送業
国内運送業
国外運送業
不動産賃貸業

資本金 11,100,714,274円

従業員 754名(外に出向者89名)

役員
代表取締役会長 椎野 公雄
代表取締役社長 田村 和男
代表取締役専務取締役 小野 武久
代表取締役専務取締役 馬場 一基
代表取締役常務取締役 帰山 二郎
代表取締役常務取締役 永田 勝久
取締役 兵頭 宏基
取締役 岡本 雄爾
取締役 林 良孚
取締役 杉本 弘美
取締役 大浦 俊夫
取締役 笹尾 新一郎
常任監査役(常勤) 田島 靖夫
監査役(常勤) 木村 日出夫
監査役* 金澤 優
監査役* 森 昇

(注)*印は商法特例法に定める「社外監査役」です。

事業所等 本社・支社・支店

本社 東京都港区海岸3-22-23

関東支店 東京都港区海岸3-22-23

横浜支店 横浜市中区太田町1-1

中部支店 名古屋市中区丸の内3-19-12

関西支店 神戸市中央区浜辺通6-2-16

大阪支店 大阪市西区土佐堀2-4-9

(注)九州支店は管理業務のみを行っているため、記載を省略しております。

本社各部

業務部 LIT推進部 総務部 人事部 不動産部

リスク管理部 営業部 港運部 国際部

営業拠点【国内】

当社/本社(営業部・港運部・国際部)、関東支社、
横浜支店、中部支社、関西支社、大阪支店
子会社/札幌市、釧路市(北海三井倉庫株式会社)、
福井市、金沢市(株式会社ミツノリ)、
福岡市、北九州市(三井倉庫九州株式会社)

(注)当社の事業所と重複する地域を除いております。

【海外】

アメリカ合衆国 (ニューヨーク、ロングビーチ、
シカゴ、アトランタ、エルバソ)

シンガポール (シンガポール)

マレーシア (ポートケラン、ペナン、
ジョホールバル、マラッカ)

タイ (バンコク、チェンマイ、レムチャバン)

フィリピン (マニラ)

インドネシア (ジャカルタ)

ベトナム (ホーチミン)

中華人民共和国 (香港、広州、深圳、福田、澳門、福州、
寧波、蘇州、上海、南通、青島、天津)

台湾 (台北、高雄)

韓国 (ソウル、プサン)

オランダ (ロッテルダム)

ドイツ (デュッセルドルフ)

フィンランド (ハミナ)

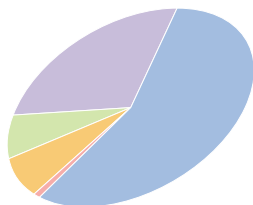
チェコ (プラハ)

アラブ首長国連邦 (ドバイ)

株式の状況(平成15年9月30日現在)

発行済株式の総数…………… 139,415,013株(前期末比 増減なし)
 株主数…………… 8,761名(前期末比 + 46名)
 うち1単元以上所有の株主 8,265名
 (前期末比 + 49名)

所有者別分布状況



金融機関	79,642千株	57.1%
証券会社	1,541千株	1.1%
一般法人	11,356千株	8.2%
外国人	10,309千株	7.4%
個人・その他	36,540千株	26.2%
当社(自己株式)	24千株	0.0%

大株主(上位10名)

氏名	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	12,113	8.7
三井生命保険	10,197	7.3
三井住友海上火災保険	8,697	6.2
中央三井信託銀行	6,949	5.0
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	6,790	4.9
日本生命保険	5,788	4.2
三井倉庫従業員持株会	4,677	3.4
資産管理サービス信託銀行(信託A口)	3,686	2.6
三井住友銀行	3,484	2.5
モルガンスタンレーアランドカンパニーインク	3,009	2.2

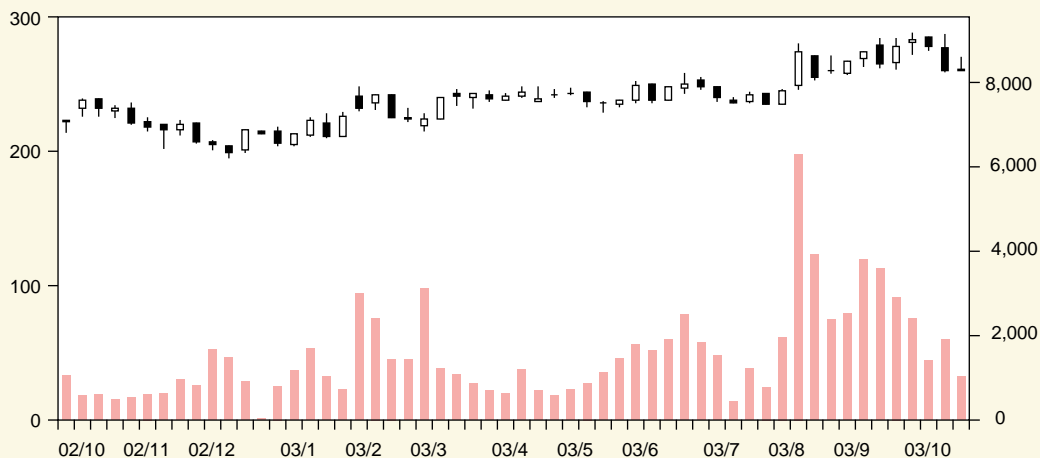
(注)千株未満の株式数は切り捨てて表示しております。

株価および売買高の推移(東京証券取引所)

(証券コード 9302)

株価の推移(円)

出来高(千株)



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
同総会における議決権行使株主	3月31日現在1単元以上を有する株主
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部)、大阪証券取引所(市場第1部)
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内一丁目4番3号)
名義書換代理人事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (住所:〒137-8082 東京都江東区東砂七丁目10番11号) (代表電話:03-5683-5111)
	【株式関係各種用紙のご請求】 株式の各種手続き用紙は、次のUFJ信託銀行の電話及びインターネットで24時間承っております。 電話 フリーダイヤル0120-24-4479(自動応答システム) URL http://www.ufjtrustbank.co.jp/
名義書換事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社本店 全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の買取り	単元未満株式(1株~999株)の買取りは上記の名義書換代理人事務取扱所及び名義書換事務取扱所にてお取扱いしております。 (注)当社は単元未満株式の「買増し請求制度」は採用しておりません。
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告に代わる貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.mitsui-soko.co.jp/j/koukoku/ (当社の下記ホームページのトップページからもアクセスできます)

配当金お受取りのご案内

1. 配当金を指定した銀行等金融機関の預貯金口座で受け取られる株主様
定時株主総会決議ご通知(利益配当金の場合)または中間事業報告書(中間配当金の場合)に同封申し上げる「配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」記載のとおり、ご指定の口座にお振り込みいたしますので、これにより金額と金融機関名・支店名等をご確認ください。
2. 配当金を銀行等の金融機関口座への振込を指定されない株主様
定時株主総会決議ご通知(利益配当金の場合)または中間事業報告書(中間配当金の場合)に同封申し上げる「郵便振替支払通知書」により、最寄りの郵便局で払渡期間内にお受け取りください。(銀行等または郵便局に預貯金口座をお持ちの方は、この支払通知書によりその口座へのご入金もできます。)
また、今後の配当金を金融機関の預貯金口座への振込みによって受領することを希望される場合は、同封の「配当金振込指定書」用紙によりお手続きをおとりください。

ホームページの
ご案内

三井倉庫はインターネット上に日本語版・英語版のホームページを開設しております。
決算短信など最新の企業情報をご覧ください。

URL <http://www.mitsui-soko.co.jp/>

